

令和7年度

物 品 購 入 仕 様 書

物 品 名 東秩父消防団第一分団第二部（御堂）水槽車

納入場所 東秩父消防団第一分団第二部

1. 支払方法

一括支払（全納品完了後）

2. 事業内容等についての ⇒ 担当課・施設名 （ 東秩父分署 ）
問 い 合 わ せ 先 担 当 者 名 （ 高 橋 ）
電 話 番 号 （ 0493-82-1215 ）

設 計 年 月
令 和 7 年 3 月

令和 7 年度

仕 様 書

物 品 名		東秩父消防団第一分団第二部（御堂）水槽車					
納入場所		東秩父消防団第一分団第二部					
実 施 額		円	変更実施額		円		
内 訳	価 格	円	内 訳	価 格	円		
	消 費 税 相 当 額	円		消 費 税 相 当 額	円		
購 入 額		円	変更購入額		円		
概 要	東秩父消防団第一分団第二部（御堂）水槽車（小型動力ポンプ付） 1 台 ・ ホイルベース：2.0m以上 ・ 全長：6.000mm 以下 ・ 乗車定員：3 名 ・ ミッション：マニュアル ・ 総重量：7,000 kg未満 ・ 納入期限：令和 8 年 3 月 13 日						
実 施 理 由							

令和 7 年 度

東秩父消防団第一分団第二部(御堂)

水槽車(小型動力ポンプ付)

仕 様 書

比企広域市町村圏組合

第1 総則

- 1 本仕様書は、令和7年度に比企広域市町村圏組合（以下「当組合」という。）が購入し、東秩父消防団に配備する水槽車（小型動力消防ポンプ付水槽車）（以下「本車両」という。）について定める。
- 2 本車両は、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られるものとする。
- 3 本車両の積載品は、走行中の振動その他により破損等を生じないように固定又は収納し、かつ、容易に積み下ろしができる等の配慮をすること。
- 4 製作に使用する材料は精選された耐久性に富むものを使用し、点検・整備及び修理が容易で維持管理が経済的にできるものとする。
- 5 本車両は関東運輸局埼玉陸運支局の車両検査及び小型動力消防ポンプは日本消防協会が行うポンプ検定に合格したものとし、令和8年3月13日までに新規登録の手続を完了すること。
- 6 受注者は契約締結後、当組合担当者と打合せを行い、以下の書類を提出すること。
 - (1)製作工程表
 - (2)製作承認図
- 7 納車時には次の図書（コピー可）を各2部提出すること。
 - (1)自動車改造計算書
 - (2)車両重量実測書
 - (3)艤装概観図（4面図）
 - (4)艤装関係配線図
 - (5)ポンプ装置配管図
- 8 検査、保証、費用等は次のとおりとする。
 - (1)検査は、当組合の指示により、中間検査及び完成検査を行うものとする。なお、検査を受けようとするときは、検査予定日の2週間前までに検査日時及び場所を書面にて連絡し、当組合の承諾を得ること。
 - (2)受注者は、各種申請等を代行するものとし、以下の費用等は受注者が負担する。
 - ア 緊急車両申請費用（書類作成、仮申請、写真撮影、申請手続一式）
 - イ 改造車両申請費用（書類・計算書・図面作成、申請、申請手続一式）

※ただし、自動車損害賠償責任保険、自動車重量税及びリサイクル料は当組合が負担とする。

- (3) 自動車車検証の写し(コピー)を車検検査終了後、当組合に提出すること。
- (4) 保証期間は納入後1年間とする。ただし、製造及び販売業者が1年を超える保証期間を定める製品及び部品については、当該業者の定める保証期間とする。また、保証期間後であっても設計、製作及び材料不良に起因する故障等が発生した場合は、無償にて修理を行うものとする。
- (5) 設計製作及び材料不良に起因する故障発生の場合は、保証期間後であっても無償で修理等を行うものとする。

9 納入等については以下のとおりとする。

- (1) 納入台数 1 台 (納入台数)
- (2) 納入場所 指定場所
- (3) 納入期限 令和8年3月13日
- (4) 納入検収 納入日に行う。
- (5) 取扱説明 納入日より2週間以内(別途指定日)

第2 シャーシ関係

1 ベースシャーシ

- (1) 車 種 シングルキャブ 3.0t 級 (サイド PTO 付)
- (2) エンジン ディーゼルエンジン 150 馬力以上
- (3) 充電装置 80A仕様
- (4) 変速装置 マニュアル
- (5) 駆動方式 四輪駆動
- (6) 乗車定員 3名
- (7) キャブバックコントローラー
- (8) 完成車寸法 (L6,000×H2,500×D2,200 以内とする)

2 付属装備品等

No	品 名	数量	備考
1	シャーシ標準工具	1式	
2	フロアマット	1式	
3	FM・AMラジオ(時計付)	1式	
4	ドアバイザー(左右)	1式	
5	車輪泥よけ	1式	
6	エアコン	1式	

7	パワステ	1式	
8	バックブザー	1式	
9	スペアキー	1個	
10	フォグランプ	1式	
11	スタッドレスタイヤ	6本	車両に装着
12	スペアタイヤ(ホイール付) スタッドレス	1本	
13	アイドリングコントロール装置	1式	

第3 消防ポンプ及び水槽関係

1 消防ポンプ等

搭載する消防ポンプは FS500 型4ストローク B2級とし、ラジエター式にて 15 分程 度の空運転が行えるものとする。水槽後部に積載の上、吸水配管及びボールコック等を設け、水槽水が速やかに放水可能であり、消火栓水利の給水についても速やかに行える配管構造とする。配管に接続する消防ポンプは、カーボンブレード等によるオイルレス真空ポンプを備え、オイル排出による環境汚染の防止が図られ、配管装置より容易に取り外せるものとし、消防ポンプ単体での運用も可能なものとする。(セルモーター付)

2 水槽等

配管で接続される水槽は(2,000L 級ステンレス鋼板製) 楕円筒型とし、消火栓給水に対し変形及び水漏れの無い強固な構造であること。また、水槽は車体後部中央位置に搭載され、上部にはマンホール及びオーバーフローパイプを設け、下部にはドレンバルブを備え、消防ポンプとの併用により消火活動に有効に使用できるものとし、以下の内容を満たすこと。

- (1) 水槽は楕円筒型とすること。
- (2) 水槽側面にボールコック付 65 型積水口を設けること。
- (3) 水槽側面にボールコック付消防ポンプ用吸水口を設けること。
- (4) 水槽にはパイプ式水量計を(防護枠付)を取付けること。
- (5) 水槽上部にはシェルター式の防護枠を設け、内側は縞板張とする。(幌カバー付)
- (6) 水槽上部への昇降用梯子(ステンレス製)を左右に各1本取付けること。
- (7) 水槽内部にはステンレス製の防波板を必要数設けること。
- (8) 水槽には高圧ポンプ用吸水配管を設けること。
- (9) 水槽には高圧ポンプ用戻り配管を設けること。ただし、高圧ポンプ本体が、自衛冷却ができる構造とした場合、戻り配管を設けないことができる。

第4 高圧ポンプ・配管関係

搭載する高圧ポンプは車体下部のシャーシフレーム付近に取付け、車両側サイドPTO駆動により高圧送水できるものとし、高圧ホースと高圧フォグガンからなり、山林火災等での放水を容易に行えるものとする。また、高圧ポンプは寒冷時の水抜きを考慮すること。さらに、高圧ポンプ配管は水槽水を直接吸水する配管等を設け、高圧放水中の一時放水停止及び再送水が容易に行える配管構造とし、構成は以下のとおりとする。

- 1 高圧ジェットポンプ(プランジヤーポンプ8Mpa×25L/min)
- 2 ジェットフォギング(電動整列巻取りリール式)
- 3 高圧ホース(100m)ワンタッチカプラー式
- 4 高圧フォグガン トリガーストップ付
- 5 高圧コック類及び配管一式

第5 消防機装関係

- 1 積載品の消火機材等については、車体の重量バランス、使いやすさ等を考慮し、車体外周部及びキャブ等に容易に使用可能な方法にて取付け、又は収納すること。付属品等にあつては、車両の運用時に支障のないよう収納すること。また、取付け位置等については、別途協議の上、製作承認図及び中間検査にて指示するものとする。
- 2 車体最後部は張り出し式ステップ形状とし、消防ポンプ及びホースリールを積載可能な構造とし、上部には手摺り付のホース棚等を設けること。
- 3 赤色警光灯をキャブルーフ上に取り付け、操作は電子サイレンアンプにより行えること。
- 4 電子サイレンアンプはキャブ内ダッシュボード付近に取り付け、スピーカーは散光式赤色警光灯に内蔵する。
- 5 モーターサイレンの操作はキャブ内にて行うこととする。
- 6 受令機はフロントキャブ内に設置し、ルーフにアンテナを取付け、同軸ケーブル及び電源を配線すること。(支給品取付)
- 7 車体左側面に訓練旗等が取付け可能な支持金具を設けること。
- 8 赤色点滅灯(LED 式)を車両前部に2個、後部に2個取付け、操作は赤色警光灯と連動とする。また、後部についてはオンスイッチを設けること。
- 9 LED投光器(35W 散光式)はファイアーリサーチ型伸縮ポールにて車体に取り付け、単独操作スイッチを設けること。
- 10 作業灯(LED式)を高圧ポンプ及び小型動力ポンプ付近に各2個、また、水槽上部の左右に各2個取付け、操作スイッチ等を備えること。
- 11 小型動力消防ポンプのバッテリーについては、全自動型充電器によりバッテリーの管理が可能なこととする。また、交流 100V電源については脱落保護型のマグネットコンセントにより着脱が容易に行えること。
- 12 バッテリー機装メインスイッチ等を設け、車両キーにて連動すること。

- 13 車両は完全な脱脂洗浄後、防錆処理が施された状態で朱色にて2回以上の吹付け塗装をし、文字は左右ドア面及び標識灯に「団名」及び「所属名」等を表示する。文字入れの詳細については当組合より別途指示とする。
- 14 当組合と協議の上、可能な限り収納BOXを設けること。
- 15 収納BOXは発電機及び投光器が格納可能となるよう配慮すること。
- 16 電装品関係の詳細は次のとおりとする。

No	品 名	数量	備考
1	室内照明灯(LED式)	1式	取付有り
2	LED式(クアトロビーム)	1灯	〃
3	照明灯用伸縮ポール ファイヤーリサーチ型	1本	〃
4	照明灯単独操作スイッチ	1式	〃
5	高圧ポンプ部LED作業灯	1式	〃
6	可搬ポンプ部LED作業灯	1式	〃
7	作業灯単独操作スイッチ	1式	〃
8	赤色警告灯 FV10SHC (1,520mm)	1式	又は同等品以上
9	電子サイレンアンプ マークD-1 (標準メッセージ付専用マイク付属)	1式	取付有り
10	電子サイレンアンプ音声合成スイッチ	2式	〃
11	電動モーターサイレン	1式	
12	赤色点滅灯(前部) TLMIR24	2個	又は同等品以上
13	赤色点滅灯(後部) TLMIR24	2個	又は同等品以上
14	作業灯 LED型(左右部)OS LI-21	4個	

第6 付属品及び積載品関係

付属品・積載品は以下のとおりとする。

No	品 名	数量	備考
1	吸水管 軽量型 $\phi 75 \times 8m$	1本	取付有り
2	吸水管ちりよけカゴ $\phi 75$ 用	1本	
3	吸水管ストレーナー $\phi 75$ 用	1個	
4	吸水管枕木	1個	
5	吸水管ロープ 15m	1本	
6	スタンドパイプ 単口引き上げ式 65 ϕ 用	1個	取付有り
7	車輪止め ゴム製(中) 2個1組	1組	〃
8	ホース漏水止めバンド	5枚	
9	二つ折り梯子(3.6m)	1脚	
10	無反動管鎗 ワンタッチ式 MH-65A	1本	取付有り

11	ストレート管銃 バンド付 RL-65	1本	取付有り
12	噴霧ノズル DA噴霧V26 65φ用	1個	
13	水口ノズル 65φ用ストレート	1個	
14	消火栓蓋開閉金具（消火栓キー） MHキーハンドル L=1,000	1個	取付有り
15	消防団マーク(150mm)	1個	〃
16	消火器 自動車用20型	1個	〃
17	剣先スコップ	1本	〃
18	鳶口 グラスファイバー製 1.8m	2本	〃
19	金てこ L800型	1本	〃
20	ホースブリッジ(軽量型 2枚1組)	1組	
21	車載無線受令機(消防用アンテナ・基台・ケーブル共)	1式	支給品(デジタル)
22	消防用ホース 65×20m 使用圧力1.3Mpa	5本	
23	消防用ホース 65×7m 使用圧力1.6Mpa	2本	
24	双口分岐管 ダブルコック式 65×65・65	1個	取付有り
25	ダイレクトバルブ	1個	支給品(取付有り)
26	差込媒介金具(雄々・雌々) 65×65	1組	取付有り
27	覆カバー(タンク上・小型ポンプ・電動ホースリール)	1式	
28	バックアイカメラ(モニター7インチ)	1式	
29	ドライブレコーダー(モニター付き)	1式	

第7 受令機

- 1 受令機(デジタル無線対応・支給品)をキャブ内の助手席に取付ける。なお、アンテナ及び配線についても、耐久性、安全性のあるものを選択し施行すること。
- 2 スピーカーをキャブ内 1 個及び車両左右側面内部に各 1 個取付ける。

第8 その他

仕様書全般にわたり、当組合担当者と十分な協議の上、良心的に対応すること。